

**高齢者のいきいきのたのしみ**

12月15日、上ノ国町老人クラブ連合会主催（高橋廣会長）による『平成29年度高齢者いきいき芸能発表会』がジョイよじよぐらにて開催され、190名の来場者が観客席を埋め尽くしました。このイベントは年末の風物詩ともなっており、会場では、第一部の舞踊9演目、お昼の上ノ国保育園園児によるアトラクションをはじめ、第二部の民謡1演目と江差追分全国大会優勝者による江差追分2演目、第三部のカラオケ20演目が行われ、幅広い地域の方々が熱演されました。観客は、年に1度のお楽しみでもあることから、演者に拍手や笑い、大きな声援で応え、開演から閉幕までいきいきとした表情で演目を楽しんでいました。



**コパコパフットボール15 初開催大会で見事優勝**

12月17日、本町と江差町の中学生が所属するサッカー少年団『コパコパFC』が参加するフットサル大会『コパコパフットボール15』が町民体育館で初開催されました。中学生カテゴリーにおいて、地元の元初開催となった本大会ですが、渡島檜山から全6チームが集まり、総当りのリーグ戦で試合が行われました。そのなかでコパコパは全ての相手に一歩も引くことなく、攻めの姿勢で試合に臨み、特に大一番だったのは、全道出場経験が豊富な技術的なチームとの対戦でした。試合開始直後からさわどい場面が連続となる好ゲームを展開し、コパコパは無失点で前半を折り返すと、後半、相手の間隙を縫って立て続けに2点をもぎ取り、その後には鉄壁のディフェンスとキーパーのファインセーブもあって2-0の無失点で試合を締めくくると、他の全試合も勝利し、チーム名を冠する地元初開催の大会にて見事総合優勝を飾りました。



**町内中須田地区で土づくり研修会が開催**

11月28日、生産技術の向上を図ることを目的として、檜山農業改良普及センター主催による「土づくり研修会」がゆいっこハウスにおいて開催されました。堆肥をテーマとしたこの研修会は、同センターの重点地区に中須田地区が指定されている関係から開催されたものです。会場では、まず町内における堆肥利用実態調査に基づく結果報告からはじまり、続いて『堆肥の種類や効果』、『土づくり・排水性確保の必要性』などの説明がありました。参加者からは、『今一度自分の土壌を見直したい』などの声のほか、堆肥の有効利用に関する要望が上がるなど、土づくりへの理解と関心が一層深まった様子で、来年の作物の収量増加に繋がることが期待されます。



**高橋北海道知事が来町**

12月8日、高橋はるみ北海道知事が来町され、本町の重要文化財を視察しました。高橋知事は、同日江差町で開催された日本遺産認定記念シンポジウムへ出席するため檜山を訪れ、その日程の中で本町を訪問するここととなり、旧笹浪家住宅を訪れました。旧笹浪家住宅は、日本遺産に登録されたニシンの歴史に関わりの深い、鯨番屋の原型とされる文化財でもあり、高橋知事は、教育委員会文化財グループ主幹の説明を聞きながら住宅や展示物の歴史を確認し、時折質問を交えながら、本町とニシンの関わりについてその知識を深められていた様子でした。

